

おかやまコープ くらしをつくる Vol.17

買い物支援、高齢者見守り、子育てを応援

安全・安心のコープ商品などを、毎週1回、決まった曜日・時間に届ける「おかやまコープの宅配」近所や職場など5人以上のグループでつくる班に配達する「班配」、個別に玄関先まで届ける「個配」などがあり、県内13万世帯で利用されています。おかやまコープの宅配は、商品を手元に届けるだけでなく、班配は高齢者の見守り、子育て支援などの役割も果たしています。さまざまな課題を抱える現代の地域社会の中で、生協がくらしを支える役割を担うために、地域の課題解決に立ち向かっている姿は、行政からも期待が寄せられています。

「宅配」でつながる

安全・安心の輪

買い物を支援

山間部にも毎週配達
コミュニティづくりにも



大雨の日でも定時にきちんと届けられる。配達担当者とも話が弾む佐々木さん(中央)



「山間部には宅配がなくてはならない」とも、おやまコープの宅配は、高齢者や子育て世代、障がい者など、さまざまな人々にとって、くらしを支える大切な存在です。山間部や過疎地など、人口が少なく、交通の便が悪い地域では、宅配が唯一の生活の足しとなっています。おかやまコープの宅配は、地域の人々をつなぎ、安全・安心な生活を支えています。



「おかやまコープ」の商品一例

生協ならではの安全・安心な商品が
届きます

毎週、決まった時間に
重い物やかさばる物も
配達されるので、
とっても便利

生協オリジナルの「コープ商品」、生産者の顔が見える「産直商品」、岡山県産にこだわった「おかやま産」商品など、生協ならではの魅力あふれる商品が届きます。

くらしに必要な
多彩な商品が
そろっています

毎週商品案内カタログが届けられ、食品をはじめ、生活雑貨、家具、寝具、衣料品などくらしに必要な商品が幅広くそろっています。



各家庭を回る宅配トラック

生協へ高まる期待

2016(平成28)年1月20日、厚生労働省全国厚生労働関係部局長会議(厚生分科会)資料より抜粋
生協は互助の組織として、以下のような組合員のくらしを支える事業と互助活動を一体的に行っており、こうした事業・活動を通じて地域のコミュニティづくりに寄与してきたところである。

- ◎ 組合員のくらしを支える事業と互助活動
- ◆ 購買事業 (店舗・宅配による食品等の供給、移動販売車による買い物弱者支援や個配又は配達時の高齢者見守り、家事援助、移動支援、子育て支援活動など)
- ◆ 医療福祉事業 ◆ 共済事業 ◆ 被災者の支援 ◆ 生活困窮者の支援 ◆ 障害者の雇用 など

今日、地域においては一人暮らし高齢者の増加、核家族化の進展などにより地域の支え合いが失われつつあり、人為的に互助の回復を図っていくことが重要な課題となっている中、互助組織である生協が助け合いの輪を広げることや地域社会の困窮事に対応できるような事業と活動を拡充することが期待される。生協は地域における助け合いの輪を構築するにあたって、自治会やボランティア団体などと協力関係にあり、今後の高齢者の日常生活支援、子育て支援を充実する上で重要な即戦力である。

高齢者を支援

介護認定者のいる家庭は
個配手数料を半額に



野菜豊富で栄養バランスのよい料理7品が詰められた「たべてん便」(写真はお試しコース1食561円)

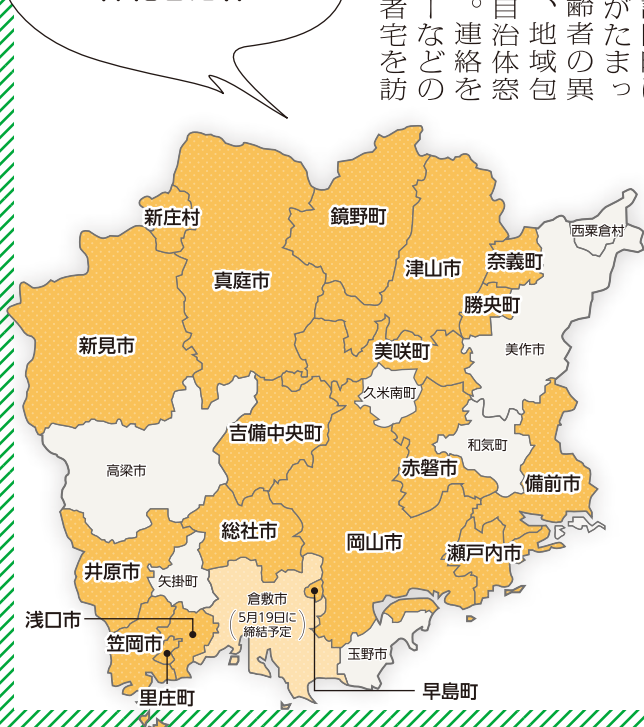
食費市生協の静かな宅地で、一人で暮らしている平松美江子さん(84)。「長年地域のみなさんとおかやまコープの班配を利用して、いまは5年ほど前、自給車に乗って、入浴や洗濯の手配をお願いしています。入浴は、自宅に届けてくれるので、入浴剤やトイレットペーパーなどの日用品、服や布巾など日常の買い物はすべておかやまコープの宅配で済ませています。また一人暮らしで食費の心配がなくて、おかやまコープの宅配が、とても助かっています。おかやまコープの宅配は、自立した暮らしを支える重要な役割を担っています。」



軒先で渡してもらえらる足腰への負担は最小限で済む

岡山県内19自治体と
地域見守り協定を締結

おかやまコープは、県内全域にわたる配達ネットワークを活用し、行政と連携して届け先の高齢者の健康の様子をくまなく見守り、活動を行っています。具体的には、配達担当者が訪問時に、新聞や郵便物がたまっていないか、高齢者の異変に気づいたら、地域包括センターや自治体窓口などに連絡、連絡を受けた自治体などの担当者が高齢者宅を訪ね、必要に応じてサポートを行います。



地域見守り活動

おかやまコープの宅配の資料請求をされた方には、もちろんコープ商品(無料サンプル)をプレゼント。最寄の配達センターより連絡させていただきます(おかやまコープの宅配を利用されていない方が対象です)。
おかやまコープの宅配の問い合わせは ▶ ☎ 0120-662-538 (受付時間 月～金曜 8:30～21:00 ※土曜は～18:00) <http://okayama.coop/>

環境と地域再生の活動で 役割を発揮

おかやまコープは、瀬戸内と沖繩の海で、地元漁協などが取り組んでいる「里海づくり」を応援しています。里海づくりは、人が手を加えて豊かな海を守り続けようという考え方で、陸の里山づくりに似ています。瀬戸内では備前市の日生町漁協が長年取り組んでいる「アマモ場の再生」を、沖繩では恩納村漁協が行っている「サンゴ礁の再生」を、作業への参加や、商品売り上げの一部を活用するなど応援。6月3日から備前市日生町で開かれる「全国アマモサミット2016 in 備前」の実行委員会メンバーにもなっています。

開催日
6/3 ▶ 5日

主催
全国アマモサミット2016 in 備前 実行委員会
構成: 日生町漁業協同組合、生活協同組合おかやまコープ、岡山県、備前市 など

問い合わせ先
実行委員会事務局
(備前市まち産業課)
0869-64-1836

6/4
土

9:30～
全国アマモサミット
会場 備前市立日生市民会館

第1部 アマモ再生活動30年の歩み～振り返りと将来展望～
第2部 アマモ再生への道～里海づくりが目指すもの～
第3部 里海・里山ブランドの発信～地域と世代をつなげて～

6/5
日

9:00～
海辺の自然再生・
高校生サミット
会場 備前市立日生市民会館

12:10～
クロージングイベント
会場 備前市立日生市民会館

6/3
金

9:30～
沿岸環境関連学会
連絡協議会
ジョイント・
シンポジウム
会場 日生町漁協

14:00～
日生中学校による
流れ藻回収大作戦
集合場所 日生町漁協

詳細は大会HP ▶ <http://amamo-summit2016.com>

「里海づくり」を応援しています

おかやまコープは



もずく養殖が行われている恩納村の海



アマモ場に集まる小魚たち

瀬戸内

★アマモ場の役割
「海のゆりかご」

★アマモ場の造成
日生町漁協が
先駆的取り組み

★おかやまコープの活動
協定を結び
再生を応援

アマモの復活



アマモの種まき作業



アマモ苗の定植

笠岡地区でも活動

笠岡地区でも活動

★美ら海の恵み
サンゴが守る
豊かな環境

★漁協の取り組み
消滅の危機を
養殖で回避

サンゴの再生



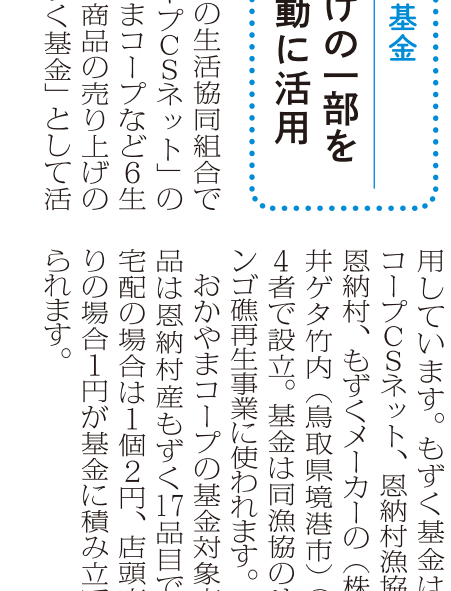
海底に植え付けられたサンゴ

★恩納村産太もずく
歯ごたえ良く
豊富なミネラル

★恩納村産太もずく
歯ごたえ良く
豊富なミネラル

沖繩

★もずく基金
売り上げの一部を
再生活動に活用



もずく基金の対象商品の一つ「恩納村産風味太もずく」

★もずく基金
売り上げの一部を
再生活動に活用

★もずく基金
売り上げの一部を
再生活動に活用